

2017年 春（3月～5月）の天候経過

平成29年6月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今春（3～5月）の特徴

【高温、かなりの少雨、かなりの多照】

天気は概ね数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れの日が多い時期があった。

気温は、4月は高く、5月はかなり高かった。3か月平均気温では高かった。

降水量は、3月と5月はかなり少なく、3か月合計の降水量はかなり少なかった。

日照時間は、3月は多く、5月はかなり多かった。3か月合計の日照時間はかなり多かった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差	+0.8℃	+0.2℃	+0.8℃	+1.5℃
階級	高い	平年並	高い	かなり高い
降水量平年比	72%	70%	103%	46%
階級	かなり少ない	かなり少ない	平年並	かなり少ない
日照時間平年比	115%	117%	108%	121%
階級	かなり多い	多い	平年並	かなり多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

3. 月別の天候経過

（3月）【冬型の気圧配置は一時的で、天気は概ね数日の周期で変化。かなりの少雨と多照】

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で、雨や雪の降った日が多かった。

中旬は、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨や雪の日が多かったが、冬型の気圧配置が長続きせず、また、寒気の影響も弱かったため、旬の降水量や降雪量はかなり少なかった。

下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。

月の降水量は、中旬以降冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の影響が弱かったためかなり少なかった。

（4月）【天気は概ね数日の周期で変化。高温】

上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は概ね数日の周期で変わった。

中旬は、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。日本海で低気圧が急速に発達したため、大雨や大荒れの天気となった所があった。

下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は概ね数日の周期で変わったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、旬の日照時間はかなり多かった。

月の気温は、中旬にかけて南から暖かい空気が流れ込みやすかったため高かったが、低気圧の通過後に一時的に寒気の影響を受けたため、気温の高い時期と低い時期があり、気温の変動が大きかった。

（5月）【天気は概ね数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照】

上旬は、気圧の谷の影響で雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

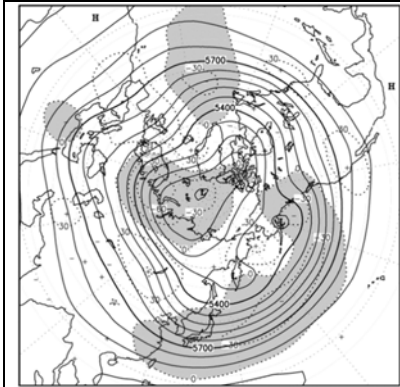
中旬は、期間の前半は気圧の谷の影響で雨の日もあったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、旬の気温はかなり高くなった。

下旬は、気圧の谷の影響で雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。旬の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなった。

月の気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなった。

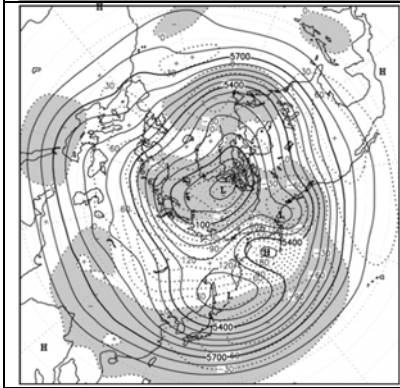
4. 大気の流れから見た今春の特徴（500hPa 天気図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。



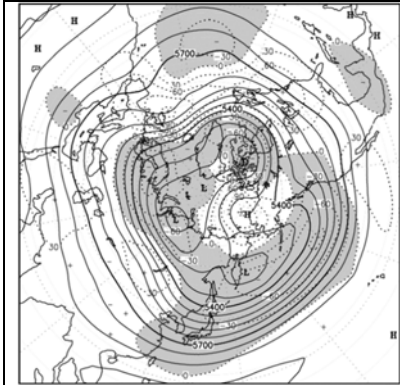
3～5月

中央～東シベリアと中国大陸で正偏差、日本の東海上で負偏差となっていて、バイカル湖付近が気圧の尾根となっていた。日本付近は東谷となり、本州付近は低気圧の影響を受けにくく、大陸から進んできた高気圧に覆われやすかった。



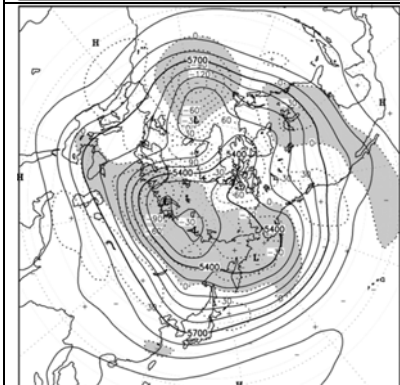
3月

ベーリング海からシベリア付近にかけては明瞭な正偏差が見られ、この付近でブロッキング高気圧が現れることが多かった。一方、日本の南東海上を中心に負偏差で、日本付近は東谷となったため、日本付近での低気圧の活動は弱かった。



4月

東シベリアからアラスカにかけて正偏差がみられ、この付近でブロッキング高気圧が発達した。その南では、日本付近から北米西岸にかけて東西に負偏差が広がった。日本付近の偏西風の蛇行は小さく、強い寒気は中緯度帯に流れ出しにくかった。



5月

日本付近は北日本を中心に広く正偏差に覆われた。偏西風は、ユーラシア大陸北部からオホーツク海にかけてと本州の南を流れやすく、本州付近では平年に比べて弱かった。低気圧は偏西風に対応して日本の北と本州の南を通ることが多く、梅雨前線が日本の南に停滞しやすかった。本州付近は高気圧に覆われやすかった。北半球では強い寒気の原因が西シベリアにあって、日本付近への寒気の南下は弱かった。

5. 参考資料

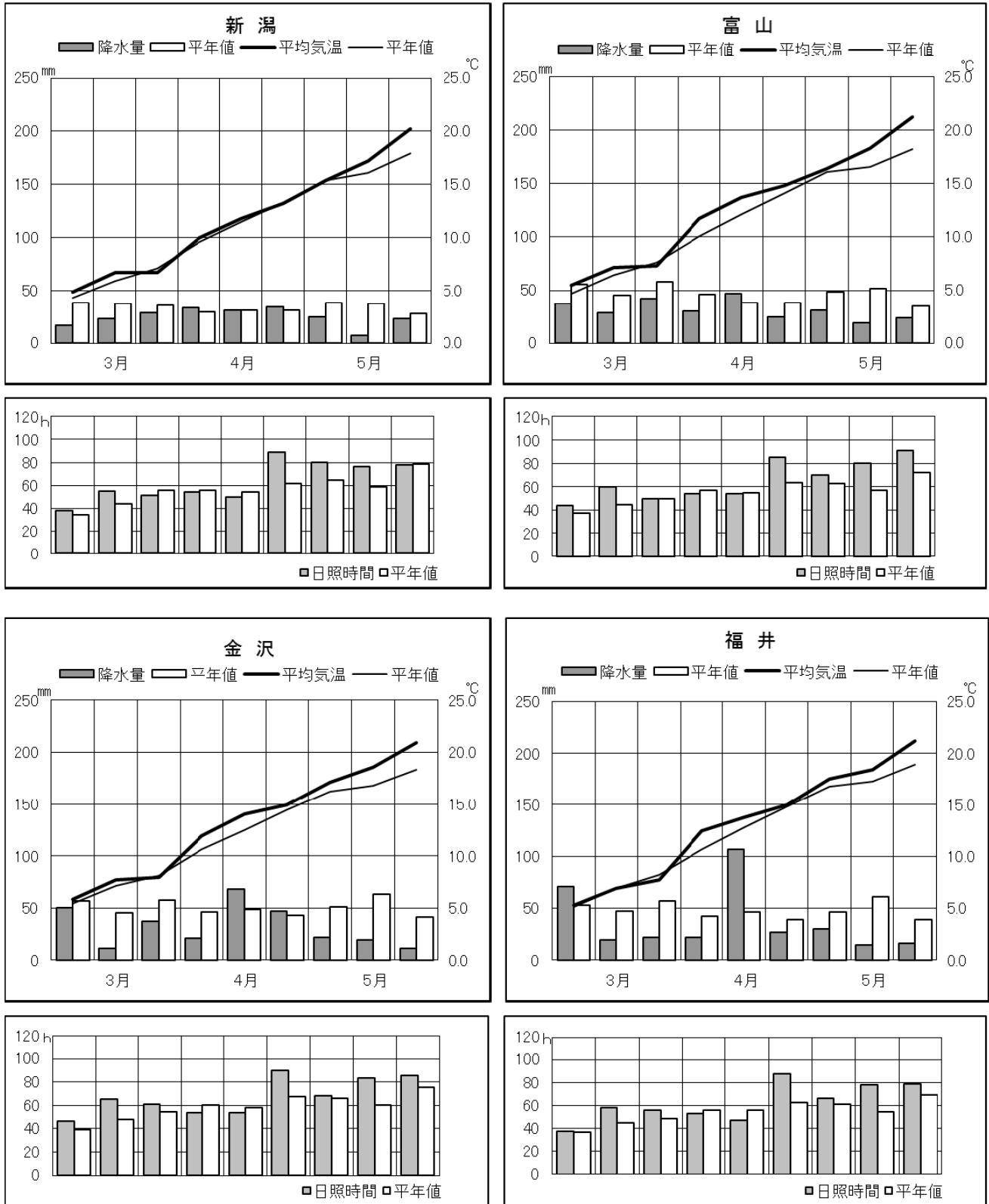


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における3～5月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	3月		4月		5月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	6.1	+0.3 (O)	11.6	+0.1 (O)	17.7	+1.2 (**)	11.8	+0.5 (+)
高田	6.0	+0.6 (O)	12.2	+0.7 (+)	17.9	+1.3 (**)	12.0	+0.9 (+)
相川	6.5	+0.3 (+)	11.6	+0.4 (+)	16.9	+1.4 (**)	11.7	+0.7 (+)
富山	6.6	+0.3 (O)	13.4	+1.3 (+)	18.7	+1.7 (**)	12.9	+1.1 (**)
伏木	6.3	+0.1 (O)	12.6	+0.9 (+)	18.0	+1.6 (**)	12.3	+0.9 (+)
金沢	7.2	+0.3 (O)	13.6	+1.1 (+)	18.9	+1.8 (**)	13.2	+1.0 (**)
輪島	6.0	+0.3 (O)	11.8	+0.8 (+)	17.4	+1.7 (**)	11.7	+0.9 (**)
福井	6.7	-0.1 (O)	13.7	+0.9 (+)	19.1	+1.4 (**)	13.2	+0.8 (+)
敦賀	7.5	-0.3 (O)	14.4	+1.2 (+)	19.3	+1.5 (**)	13.7	+0.8 (+)
北陸平均		+0.2 (O)		+0.8 (+)		+1.5 (**)		+0.8 (+)

降水量	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	69.0	61 (-*)	99.5	109 (O)	56.0	54 (-)	224.5	73 (-)
高田	177.5	91 (O)	63.5	66 (-)	61.0	64 (-)	302.0	78 (-)
相川	42.5	46 (-*)	113.0	128 (+)	39.5	37 (-*)	195.0	68 (-)
富山	108.5	68 (-*)	101.5	83 (O)	74.0	55 (-)	284.0	68 (-*)
伏木	113.0	81 (O)	122.5	108 (O)	50.0	40 (-*)	285.5	76 (-)
金沢	98.5	62 (-*)	136.0	99 (O)	52.0	34 (-*)	286.5	63 (-*)
輪島	91.5	69 (-)	136.0	120 (+)	63.5	50 (-)	291.0	78 (-)
福井	111.5	71 (-)	156.0	123 (+)	60.5	41 (-*)	328.0	76 (-)
敦賀	120.5	80 (-)	112.5	95 (O)	61.5	43 (-*)	294.5	72 (-)
北陸平均		70 (-*)		103 (O)		46 (-*)		72 (-*)

日照時間	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	144.2	108 (+)	192.7	113 (+)	234.1	116 (+)	571.0	113 (**)
高田	147.6	122 (+)	175.3	97 (O)	235.2	120 (**)	558.1	112 (+)
相川	157.7	119 (+)	186.8	104 (O)	242.9	125 (**)	587.4	116 (**)
富山	153.3	117 (+)	193.0	110 (+)	240.4	126 (**)	586.7	118 (**)
伏木	151.9	115 (+)	192.8	109 (+)	232.9	119 (**)	577.6	114 (**)
金沢	172.9	122 (+)	197.2	106 (O)	236.9	117 (**)	607.0	115 (**)
輪島	154.3	121 (+)	205.0	109 (+)	251.2	124 (**)	610.5	118 (**)
福井	150.6	116 (+)	187.5	107 (+)	222.1	120 (**)	560.2	114 (**)
敦賀	145.9	117 (+)	195.9	117 (+)	216.5	123 (**)	558.3	119 (**)
北陸平均		117 (+)		108 (O)		121 (**)		115 (**)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない), (***) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせませんが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

注4) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。

なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。

表2 北陸地方における3～5月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高（西暦年） ℃	開始年	平年値 ℃
5	2=	輪島	17.4	+1.7	17.7 (2015)	1929	15.7

注) =タイ記録を示す

◎月降水量少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小（西暦年） mm	開始年	平年値 mm
3	2	相川	42.5	46	34.0 (1999)	1912	91.9
5	3	相川	39.5	37	28.5 (1970)	1911	106.8
		金沢	52.0	34	47.5 (1967)	1882	155.2

◎3か月間の降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小（西暦年） mm	開始年	平年値 mm
3～5	3	金沢	286.5	63	272.5 (2001)	1882	451.3

◎3か月間の日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 時間	平年比 %	これまでの最大（西暦年） 時間	開始年	平年値 時間
3～5	3	富山	586.7	118	647.0 (2012)	1939	497.2

6. 天候情報発表状況

なし

(注) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。